

古 来より利根川の水を利用しやすいう恵まれた条件にある千葉県北西部。千葉ニュータウンは鉄道で都心まで1時間以内、「住む」「働く」「学ぶ」「憩う」と複合的な機能を備えた街です。また、里山に代表される豊かな自然に触れ合える環境も大きな魅力です。

この時期には、住民や遠方から訪れた人などが、印西市の市の花コスモス(秋桜)を楽しみに、牧の原公園に集います。この見事なコスモスの丘は、地域づくり活動を行うNPO法人ラーバン千葉ネットワークが、コスモス里山まつり」の時期に合わせて丹精込めて育てたもの。草花を通じて身近な環境美化を楽しむ行事として住民の集いの場となっています。

このほか、地域文化を再発見する「歴史を食べつくす会」や住民が地域農業へ貢献する「ラーバン里山農業大学校」など、以前からこの土地に住んでいる人とニュータウンに新しく移り住んだ人が協働で街を育てて

います。

また、公園周辺の印西牧の原エリアでは、CO₂の削減にも取り組んでおり、「世代を超えて語り継がれるまちづくり」の実現へ向け、総合的な低炭素型まちづくりデザインを考えるなど、自然を大切にしながらまちづくりを進めています。



上 / 近隣の住宅地も緑豊かな美しいまちなみが広がる
下 / 牧の原公園がある印西牧の原エリアは、首都圏で有数の一大商業ゾーン。東京ディズニーリゾートにも匹敵する、年間約2800万人もの人が訪れる



左上 / 10月1日の開花を目安に、毎年種まきが行われる。この季節には美しい景色を背景に、祭りや結婚式などのイベントが行われる
左下 / 公園内の憩いのスペースのデザインも、花と一体になって千葉ニュータウンの秋の景色をつくり出す

広がる秋桜の里

千葉ニュータウン

秋 Autumn